

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	加藤 由紀子	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

観光は「平和へのパスポート」といわれていますが、特に国際観光には、経済のみならず、交流による国際相互理解を促進することによる期待も大きくなっています。アジアからの訪問客が多い訪日外客（インバウンド客）への対応や取り組みを概観し、さらなる理解を深めます。北海道観光にとって、インバウンド客受け入れへの課題を自ら発見し、検証するため情報を集め、より深く考察して課題解決への道をさぐります。また、学びを通して、地域活性化やまちづくりなどに積極的に関与していきます。

● 到達目標

訪日外客（インバウンド客）に関する基礎知識を学び、北海道観光での取り組みについて考察を深め、最終的にはインバウンド促進に関する自分の戦略を立て、発表することができるようになります。また、積極的に地域振興や活性化、まちづくりなどに参加し、学内外との交流を通して、キャリアを積んでいくことも目標とします。

● 授業内容

- 1週目 ゼミのガイダンスとイントロダクション
 - 2週目 インバウンド客の現況と受け入れの課題を学ぶ
 - 3週目 インバウンド客の誘致の歴史を学ぶ
 - 4週目 インバウンド客の地域マーケットの特性を学ぶ
 - 5週目 フィールドワークの計画と準備（個人ワークとグループワーク）
 - 6週目 フィールドワークの計画と準備（グループワーク中心）
 - 7週目 フィールドワーク（ヒアリングや視察など）
 - 8週目 フィールドワークのまとめ（グループワーク中心）
 - 9週目 中間報告会（プレゼンテーション）
 - 10週目 フィールドワークの計画と準備（グループワーク中心）
 - 11週目 フィールドワークの計画と準備（グループワーク中心）
 - 12週目 フィールドワーク（ヒアリングや視察など）
 - 13週目 フィールドワークのまとめ（グループワーク中心）
 - 14週目 フィールドワークのまとめ（グループワーク中心）
 - 15週目 学習成果発表（プレゼンテーション）
 - 16週目 自己評価とフィードバック
- フィードバック（講評等）を実施します。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

ゼミへの出席の前に、常にニュースなどで取り組みについての情報の入手をすることが必要です。翌週のゼミの内容について、関連する情報を報道などで、必ず把握してきてください予習・復習の内容については、ゼミ中に指示します。
 毎回必ずゼミノートに必要事項を記入し、提出してください。また、グループワークの際は、常にグループでの進捗状況をグループメンバー全員で把握しておいてください。

● 成績評価の方法・基準

ゼミノートの内容（50％）学習成果発表などプレゼンテーション（30％）提出課題（20％）で評価します。

● 履修上の留意点

このゼミでは、能動的学習（アクティブ・ラーニング）主体となります。そのため、セメスター中に、フィールドワーク（視察や講演会視聴・ヒアリング調査など）を実施します。フィールドワークは、相手先の都合により土日を含む授業以外の時間に設定される可能性もあること、交通費など個人負担があることを了承して履修してください。フィールドワークは全員参加です。
 また、観光に関する政策提言やコンテストにも積極的に参加していくことも了承の上履修してください。
 ゼミやフィールドワークに関するお知らせなどはCoursePowerから行うので、常に確認してください。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題については、コメントをつけてメールなどでフィードバックします。

● テキスト

特になし

● 参考書

瀬戸和信「クリエイティブ思考の邪魔リスト」（朝日新聞出版） 1540円
 また、必要に応じ適宜Course Power上で紹介します。

● 更新日付

2020/03/04 09:36